



[平成 21 年度設置]

計画の区分：大学院の設置

注 1

埼玉県立大学大学院 保健医療福祉学研究科

注 2

【認可】設置に係る設置計画履行状況報告書

公立大学法人 埼玉県立大学

平成 22 年 5 月 1 日現在

作成担当者

担当部局(課)名 教学担当

職名・氏名 担当部長 ^{マシハラ} 増村 ^{ノブオ} 信雄

電話番号 048-971-0500

(夜間) 048-971-0500

F A X 048-973-4807

e-mail kyomu@spu.ac.jp

(注) 1 「計画の区分」は認可時の基本計画書の「計画の区分」と同様に記載してください。

2 大学院の場合は、表題を「 大学大学院 ……」と記入してください。

認可時から対象学部等の名称変更があった場合には、表題には認可時の旧名称を記載いただき、その下欄に () 書きにて、現在の名称を記載してください。

例) 大学 学部
(学部)

表題は「計画の区分」に従い、記入してください。

例)

- ・学部の設置の場合：「 大学 学部」
- ・学部の学科の設置の場合：「 大学 学部 学科」
- ・短期大学の学科の設置の場合：「 短期大学 学科」
- ・大学院の研究科の設置の場合：「 大学大学院 研究科」
- ・通信教育課程の開設の場合：「 大学 学部 学科(通信教育課程)」

「留意事項実施状況報告書」の場合は、表題を修正してください。

「意見伺い」の場合は、表題を修正してください。

目次

1	調査対象大学院等の概要等	1 ページ
2	授業科目の概要	4 ページ
3	施設・設備の整備状況、経費	8 ページ
4	既設大学等の状況	9 ページ
5	教員組織の状況	10 ページ
6	留意事項に対する履行状況等	19 ページ
7	その他全般的事項	21 ページ

< 参考資料 >

- 資料 1 埼玉県立大学大学院学位規程
- 資料 2 平成22年度埼玉県立大学大学院保健医療福祉学研究科学生募集要項
- 資料 3 シラバス（抜粋）
看護学演習
リハビリテーション学演習
健康福祉科学演習
看護学特別研究
リハビリテーション学特別研究
保健医療福祉概論
看護政策
障害基礎解析学特論
- 資料 4 埼玉県立大学教育開発委員会規程

1 調査対象大学等の概要等

(1) 設置者

公立大学法人 埼玉県立大学

(2) 大学名

埼玉県立大学大学院

(3) 大学の位置

〒343-8540
埼玉県越谷市三野宮820番地

- (注)・対象学部等の位置が大学本部の位置と異なる場合、本部の位置を()書きで記入してください。
・対象学部等が複数のキャンパスに所在する場合には、複数のキャンパスの所在地をそれぞれ記載してください。

(4) 管理運営組織

職名	届出時	変更状況	備考
理事長		(トネ タダヒロ) 利根 忠博 (平成22年4月1日)	公立大学法人化による理事長設置に伴う変更。平成22年4月1日(22)
学長	(サトウ ススム) 佐藤 進 (平成19年4月1日)		
研究科長	(オカモト ジュンコ) 岡本 順子 (平成21年4月1日)		

- (注)・「変更状況」は、変更があった場合に記入し、併せて「備考」に変更の理由と変更年月日、報告年度を()書きで記入してください。
(例)平成19年度に報告済の内容 (19)
平成22年度に報告する内容 (22)
・昨年度の報告後から今年度の報告時までに変更があれば、「変更状況」に赤字にて見え消し修正するとともに、上記と同様に「備考」に変更理由等を記入してください。
・大学院の場合には、「職名」を「研究科長」等と修正して記入してください。

(5) 調査対象研究科等の名称, 定員, 入学者の状況等

- (注)・当該調査対象の学部・学科または研究科の専攻等, 定員を定めている組織ごとに記入してください。
 ・様式は, 平成20年度開設の博士後期課程の場合(平成22年度までの3年間)ですが, 開設年度・修業年限に合わせて作成してください。(修業年限が2年以下の場合には欄を削除し, 4年以上の場合には, 欄を設けてください。)

(5) - 調査対象研究科等の名称, 定員

調査対象研究科等の名称(学位)	設置時の計画			備考
	修業年限	入学定員	収容定員	
保健医療福祉学研究科 保健医療福祉学専攻 修士(看護学) 修士(リハビリテーション学) 修士(健康福祉科学)	2年	20人	40人	保健医療福祉学部

- (注)・「備考」に基礎となる学部等の名称を記入してください。
 ・定員を変更した場合は, 「備考」に変更前の人数, 変更年月及び報告年度を()書きで記入してください。

(5) - 調査対象研究科等の入学者の状況

区分	報告年度			平均入学定員超過率	備考
	平成21年度	平成22年度	平成23年度		
A 入学定員	(-) 20人	(-) 20人	() 人	1.17倍	
志願者数	(41) 46	(19) 22	()		
受験者数	(39) 44	(19) 22	()		
合格者数	(24) 26	(19) 22	()		
B 入学者数	(24) 26	(18) 21	()		
入学定員超過率 B / A	(-) 1.30	(-) 1.05	()		

- (注)・()内には, 社会人の状況について内数で記入してください。該当がない年には「-」を記入してください。
 ・「社会人」については, 認可申請書において貴学が定める社会人の定義に従って記入してください。
 ・「平均入学定員超過率」には, 開設年度から提出年度までの入学定員超過率の平均を記入してください。入学定員超過率については, 小数点以下第3位を切り捨て, 小数点以下第2位まで記入し, 平均入学定員超過率も同様の方法としてください。
 ・「平成22年度」には, 平成22年5月1日現在の状況を記入してください。
 ・「平成20~21年度」には, 確定した数値を記入してください。

(5) - 調査対象研究科等の在学者の状況

学年	報告年度			備考
	平成21年度	平成22年度	平成23年度	
1年次	[-] 26	[-] 21	[]	
2年次	/	[-] 26	[]	
計	[-] 26	[-] 47	[]	

- (注)・[]内には, 留学生の状況について内数で記入してください。該当がない年には「-」を記入してください。
 ・留学生については, 「出入国管理及び難民認定法」別表第一に定められる「『留学』の在留資格(いわゆる「留学ビザ」)により, 我が国の大学(大学院を含む。), 短期大学, 高等専門学校, 専修学校(専門課程)及び我が国の大学に入学するための準備教育課程を設置する教育施設において教育を受ける外国人学生」を記載してください。
 ・短期交換留学生など, 定員内に含めていない学生については記入しないでください。
 ・各年度の5月1日現在の状況を記入してください。

(5) - 調査対象研究科等の退学者等の状況

区分 対象年度	退学者数 (a)	入学者数 (b)	入学者に対する 退学者数の割合 (a / b)
平成 2 1 年度	計 [-] 0人	(累積) 計 [-] 26人	[- %] 0%
	うち平成 2 1 年度入学者 0人	うち平成 2 1 年度 0人	
	(主な退学理由)		
平成 2 2 年度	計 [-] 0人	(累積) 計 [-] 47人	[- %] 0%
	うち平成 2 1 年度入学者 0人	うち平成 2 1 年度 0人	
	うち平成 2 2 年度入学者 0人	うち平成 2 2 年度 0人	
	(主な退学理由)		
平成 2 3 年度	計 []	(累積) 計 []	[%] %
	うち平成 2 1 年度入学者 人	うち平成 2 1 年度 人	
	うち平成 2 2 年度入学者 人	うち平成 2 2 年度 人	
	うち平成 2 3 年度入学者 人	うち平成 2 3 年度 人	
(主な退学理由)			

(注) ・ [] 内には、留学生の状況について内数で記入してください。

- ・ 留学生については、「出入国管理及び難民認定法」別表第一に定められる「『留学』の在留資格（いわゆる「留学ビザ」）により、我が国の大学（大学院を含む。）、短期大学、高等専門学校、専修学校（専門課程）及び我が国の大学に入学するための準備教育課程を設置する教育施設において教育を受ける外国人学生」を記載してください。
- ・ 「入学者数に対する退学者数の割合」は、各対象年度における退学者数を開設年度から当該年度までの入学者（累積）で除した割合（%）を記入してください。その際、小数点以下第2位を四捨五入し、小数点以下第1位までを記入してください。
- ・ 「主な退学理由」は、下の項目を参考に、その人数も含めて記入してください。
 - ・ 就学意欲の低下 ・ 学力不足 ・ 他の教育機関への入学・転学 ・ 海外留学
 - ・ 就職 ・ 学生個人の心身に関する事情 ・ 家庭の事情 ・ 除籍 ・ その他
- ・ 「平成22年度」については5月1日現在の状況を記入してください。
- ・ 「平成19～21年度」には、確定した数値を記入してください。

2 授業科目の概要

< 保健医療福祉学研究科 保健医療福祉学専攻 >

(1) 授業科目表

科目区分	授業科目の名称	配当年次	単位数			専任教員等の配置					備考	
			必修	選択	自由	教授	准教授	講師	助教	助手		
共通必修科目	IPW論(専門職連携実践論)	1・2前	2			3						兼1 認可時の留意事項に基づき兼任教員を追加(21)
	保健医療福祉概論	1・2前	2			1		2				
	保健医療福祉研究法特論	1・2前	2			4						
保健共医療福祉選択科目 統括科目	生命と倫理	1・2前		2		2						兼1 兼1
	医療福祉安全管理学	1・2前		2								
	医療福祉管理特論	1・2前		2								
	国際保健医療福祉論	1・2前		2		1						
	保健医療福祉とリハビリテーション	1・2前		2		3						
保健共医療福祉選択科目 支持科目	高次脳機能と病態制御	1・2前		2		2						
	予防医学特論	1・2前		2		2						
	応用人体構造機能論	1・2前		2		4						
看護学専攻 看護学専修 看護学専修 看護学専修 看護学専修 看護学専修	看護理論	1・2前後		2		1						兼1 兼1 兼1
	看護政策	1・2前		2								
	看護学教育論	1・2前		2		1						
	看護情報管理論	1・2前		2		1						
	看護管理システム論	1・2前後		2		1						
	基礎看護技術・看護工学	1・2前		2			1					
看護学専攻 看護学専修 看護学専修 看護学専修 看護学専修 看護学専修	地域ケア支援論	1・2後		2		1						
	精神看護援助論	1・2後		2			1					
	成人看護援助論	1・2後		2		1						
	小児看護援助論	1・2後		2		2						
	老年看護援助論	1・2後		2		1						
	リプロダクティブヘルス論	1・2後		2		1						

看護学演習 看護学演習・特別研究 看護学専修 専門科目	看護学演習	1・2後		2		7 -6	1 -2				看護学教育に関するテーマ追加のため、教員を追加(22) [担当 河津芳子(教授) 平成21年7月教員審査済 判定 可 (22) 担当教員退職に伴う教員減(22)
	看護学特別研究	1・2通		10		9 -7	3 -4				10単位必修 看護学教育及び精神ケア領域に関する研究指導を行うため、教員を追加(22) [担当 河津芳子(教授) 平成21年7月教員審査済 判定 ㊦ (22) [担当 山下美根子(教授) 平成21年9月教員審査済 判定 ㊦ (22) 担当教員退職に伴う教員減(22)
リハビリテーション基礎科学 リハビリテーション学専修 専門科目	リハビリテーション基礎実践学特論	1・2前後		2		2	1				兼1 担当教員退職に伴う教員減と、これに伴う兼任教員の追加(22)
	障害基礎解析学特論	1・2前後		2		1		1 -2			
	運動解析学特論	1・2前後		2		1			1		
	障害予防学特論	1・2前後		2		1					
リハビリテーション応用科学 リハビリテーション学専修 専門科目	運動器障害治療学特論	1・2前		2		1					通常開講(22) 履修希望者がいなかったため(21)
	内部機能障害治療学特論	1・2前		2		1					
	生活環境支援系理学療法学特論	1・2前 未開講		2		1			2		
	機能適用支援系作業療法学特論	1・2前		2		1					
	生活環境支援系作業療法学特論	1・2前		2		1	1				
リハビリテーション学演習 リハビリテーション学専修 専門科目	リハビリテーション学演習	1・2後		4		8	1	4 -5			兼1 担当教員退職に伴う教員減と、これに伴う兼任教員の追加(22)
	リハビリテーション学特別研究	1・2通		10		9	2	4 -5			10単位必修 担当教員退職に伴う教員減(22)

健康福祉科学基礎科学専修	人間の生と性	1・2後		2		1				
	健康福祉科学特論	1・2前後		2		1				
	健康福祉社会調査論	1・2前後		2		1				
	健康福祉評価論	1・2後		2		1				
	健康支援カウンセリング論	1・2後		2			2			
健康福祉科学実践学専修	健康教育評価法	1・2前		2		2				
	理論病態情報論	1・2後		2		1				
	健康運動実践学特論	1・2前 未開講 1・2前		2		2				通常開講(22) 履修希望者がいなかったため(21)
健康福祉科学実践学専修	福祉政策論	1・2後		2		1				
	地域福祉計画論	未開講 1・2前		2		1				履修希望者がいなかったため(22)
	ソーシャルワーク特論	未開講 1・2前		2			1			履修希望者がいなかったため(22)
	福祉工学論	未開講 1・2前		2		1				通常開講(22) 履修希望者がいなかったため(21)
健康福祉科学演習・特別研究	健康福祉科学演習	1・2後		2		1	1	2		
	健康福祉科学特別研究	1・2通		1	0	1	1	2		10単位必修

- (注)・認可申請書の様式第2号(その2の1)に準じて作成してください。
- ・設置認可時の授業科目全て(兼任,兼任教員が担当する科目を含む。)を黒字で記載いただき,設置認可時より変更されているものは赤字で見え消し修正いただき,「備考」に赤字で理由・変更年月等を記入してください。
 - ・授業科目を追加又は内容を変更する場合で,専任教員が担当するため教員審査が必要なものについては,「専任教員採用等設置計画変更書」の審査年月等を「備考」に記入してください。(今後,審査を受ける場合には,「平成 年 月 提出予定」と記入してください。)
 - ・「配当年次」について,設置認可申請時に開講時期を記載する必要がなかった学部等(平成19年度認可以前)についても,設置認可時の状況を黒字で記載いただき,平成22年5月1日現在の状況を赤字で見え消し修正してください。

(2) 授業科目数

認可時の計画				変更状況				備考
必修	選択	自由	計	必修	選択	自由	計	
科目 3	科目 47	科目	科目 50	科目 []	科目 []	科目 []	科目 []	変更なし

- (注)・未開講である場合や,配当年次に関わらず,教育課程上の授業科目数を記入する(資格に関する課程など,別課程としている授業科目については算入する必要はありません。)とともに,[]内に,設置認可時の計画からの増減を記入してください。(記入例:1科目減の場合: 1)

(3) 未開講科目

該当なし

番号	授業科目名	単位数	配当年次	一般・専門	必修・選択	未開講の理由, 代替措置の有無
1						
2						
3						

(注)・設置認可時の計画にあった授業科目が配当年次に達しているにも関わらず, 何らかの理由で未開講となっている授業科目について記入してください。なお, 理由については可能な限り具体的に記入してください。
・履修希望者がいなかったために未開講となった科目については, 記入しないでください。

(4) 廃止科目

該当なし

番号	授業科目名	単位数	配当年次	一般・専門	必修・選択	廃止の理由, 代替措置の有無
1						
2						
3						

(注)・設置認可時の計画にあった授業科目を何らかの理由で廃止(教育課程から削除)した授業科目について記入してください。なお, 理由については可能な限り具体的に記入してください。

(5) 授業科目を未開講又は廃止としたことに係る「大学の所見」及び「学生への周知方法」

未開講となった科目については、履修希望者がいなかった科目であり、全て選択科目のため学生の履修への影響はない。

(注)・授業科目を未開講又は廃止としたことによる学生の履修への影響に関する「大学の所見」及び「学生への周知方法」を記入してください。

(6) 「認可時の計画の授業科目数の計」に対する「未開講科目と廃止科目の計」の割合

$$\frac{\text{未開講科目と廃止科目の計}}{\text{認可時の計画の授業科目数の計}} = \boxed{0.04}$$

(注)・小数点以下第3位を切り捨て, 小数点第2位までを記入してください。

3 施設・設備の整備状況，経費

区 分		内 容				備考		
(1) 校 地 等	区 分	専 用	共 用	共用する他の 学校等の専用	計	大学全体		
	校舎敷地	86,199㎡	㎡	㎡	86,199㎡			
	運動場用地	15,892㎡	㎡	㎡	15,892㎡			
	小 計	102,091㎡	㎡	㎡	102,091㎡			
	そ の 他	174㎡	㎡	㎡	174㎡			
	合 計	102,265㎡	㎡	㎡	102,265㎡			
(2) 校 舎	専 用	46,185㎡	㎡	㎡	46,185㎡	大学全体		
	(46,185㎡)	(㎡)	(㎡)	(46,185㎡)				
(3) 教 室 等	講 義 室	32室	28室	67室	3室 (補助職員 - 人)	0室 (補助職員 - 人)	大学全体	
	演 習 室							
(4) 専任教員研究室	新設学部等の名称				室 数	申請大学院全体		
	保健医療福祉学研究科				50 室			
(5) 図 書 ・ 設 備	新設学部等の 名称	図 書 〔うち外国書〕 冊	学術雑誌 〔うち外国書〕 種	電子ジャーナル 〔うち外国書〕 種	視聴覚資料 点	機械・器具 点	標 本 点	大学全体 整備実績による(22) 整備実績による(21)
	保健医療福祉学 研究科	102,514〔11,209〕 (96,989〔11,193〕) (97,514〔11,159〕)	450〔130〕 (417〔100〕) (453〔130〕)	1,688〔1,688〕 1,484〔1,484〕 1,400〔1,400〕	1,581 1,544 1,505	9,223 8,993 8,740	361 (361)	
	計	102,514〔11,209〕 (96,989〔11,193〕) (97,514〔11,159〕)	450〔130〕 (417〔100〕) (453〔130〕)	1,688〔1,688〕 1,484〔1,484〕 1,400〔1,400〕	1,581 1,544 1,505	9,223 8,993 8,740	361 (361)	
(6) 図 書 館	面 積	2,783㎡		閱 覧 座 席 数	202席	収 納 可 能 冊 数	200,000冊	大学全体
(7) 体 育 館	面 積	2,242㎡		体育館以外のスポーツ施設の概要			テ ニ ス コ ー ト グ ラ ウ ン ド	大学全体
(8) 経費の見積り及び維持方法の概要	区 分	開設年度	完成年度	区 分	開設前年度	開設年度	完成年度	大学全体 実績及び必要経費の計上による(21) 図書購入費には電子ジャーナルを含む
		教員1人当り研究費等	498千円 365千円	498千円 365千円	図書購入費	34,454千円	34,525千円 31,454千円	
	共同研究費等	29,450千円 27,850千円	29,450千円 27,850千円	設備購入費	35,857千円	19,054千円 19,195千円	19,054千円 19,195千円	
	学生1人当り納付金	第1年次	第2年次	第3年次	第4年次	第5年次	第6年次	
		833千円	621千円	千円	千円	千円	千円	
学生納付金以外の維持方法の概要		授業料、入学金、入学検定料等により維持運営し、不足する部分については、埼玉県の運営費交付金を充当する。						

- (注) ・ 設置認可時の計画を認可申請書の様式第2号(その1の1)に準じて作成してください。
- ・ 複数のキャンパスに分かれている場合は、キャンパス毎に作成してください。
 - ・ 運動場用地が校舎敷地と別地にある場合は、その旨(所要時間・距離等)を「備考」に記入してください。
 - ・ 昨年度の報告後から今年度の報告時までに変更のあったものについては、変更部分を赤字で見え消し修正するとともに、その理由及び報告年度「(22)」を「備考」に赤字で記入してください。
なお、昨年度の報告において赤字で見え消しした部分については、黒字で記入してください。
 - ・ 校舎等建物の計画の変更(校舎又は体育館の総面積の減少、建築計画の遅延)がある場合には、《別紙様式2》により、「建築等設置計画変更書」を併せて提出してください。

4 既設大学等の状況

大学の名称	埼玉県立大学									備考
既設学部等の名称	修業年限	入学定員	編入学定員	収容定員	学位又は称号	定員超過率	開設年度	所在地		
	年	人	年次人	人		倍				
保健医療福祉学部						1.03	H 1 1	埼玉県越谷市三野宮 8 2 0 番地		
看護学科	4	120	3年次40	560	学士(看護学)	1.01				
理学療法学科	4	40		160	学士(理学療法学)	1.07				
作業療法学科	4	40		160	学士(作業療法学)	1.02				
社会福祉学科	4	70	3年次5	290	学士(社会福祉学)	1.00				
健康開発学科	4	100		460		1.04			健康開発学科は18年度新設	
健康行動科学専攻	(4)	(30)	3年次30	(180)	学士(健康科学)	1.07				
検査技術科学専攻	(4)	(40)		(160)	学士(健康科学)	1.02				
口腔保健科学専攻	(4)	(30)		(120)	学士(健康科学)	1.02				

(注) ・本調査の対象となっている大学等の設置者(学校法人等)が、既に設置している全ての大学の学部、学部の学科、短期大学の学科及び高等専門学校学科について、大学、短期大学又は高等専門学校ごとに、平成22年5月1日現在の状況を記入してください。

(専攻科に係るものについては、記入する必要はありません。)

- ・認可申請書の様式第2号(その1の1)に準じて作成してください。
- ・「定員超過率」には、過去標準修業年限に相当する期間における入学定員に対する入学者の割合の平均の小数点第2位まで(小数点第3位を切り捨て)を、学科(短期大学において専攻課程を設置している場合には、専攻課程)単位で記入してください。なお、学生募集停止を行った学科(短期大学において専攻課程を設置している場合には、専攻課程)の記載は不要です。
- ・学生募集を停止している学部等がある場合、入学定員と収容定員は「-」とし、「備考」に「平成 年より学生募集停止」と記入してください。

5 教員組織の状況

<保健医療福祉学研究科 保健医療福祉学専攻>

(1) 担当教員表

認可時の計画					変更状況					備考
専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年齢)	就任予定年月	担当授業科目名	専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年齢)	就任予定年月	担当授業科目名	
専	教授 (研究科長)	岡本順子	平成21年4月	高次脳機能と病態制御 応用人体構造機能論						
専	教授	大塚真理子	平成21年4月	I P W論(専門職連携実践論) 老年看護援助論 看護学演習 看護学特別研究						
専	教授	萱場一則	平成21年4月	I P W論(専門職連携実践論) 健康福祉科学特論 健康福祉科学演習 健康福祉科学特別研究						
専	教授	原 和彦	平成21年4月	I P W論(専門職連携実践論) 生活環境支援系理学療法特論 リハビリテーション学演習 リハビリテーション学特別研究						
専	教授	野川とも江	平成21年4月	保健医療福祉概論 地域ケア支援論 看護学演習 看護学特別研究						
専	教授	鈴木真理子	平成21年4月	地域福祉計画論 健康福祉科学演習 健康福祉科学特別研究						

専	教授	三浦直彦	平成21年4月	保健医療福祉 研究法特論 健康福祉評価 論 健康福祉科学 演習 健康福祉科学 特別研究						
専	教授	添田啓子	平成21年4月	保健医療福祉 研究法特論 看護理論 小児看護援助 論 看護学演習 看護学特別研 究						
専	教授	高柳清美	平成21年4月	保健医療福祉 研究法特論 リハビリテー ション基盤実 践学特論 障害基礎解析 学特論 リハビリテー ション学演習 リハビリテー ション学特別 研究						
専	教授	久保田富夫	平成21年4月	保健医療福祉 研究法特論 生活環境支援 系作業療法学 特論 リハビリテー ション学演習 リハビリテー ション学特別 研究						
専	教授	五條しおり	平成21年4月	生命と倫理 人間の生と性						
専	教授	細川 武	平成21年4月	生命と倫理 高次脳機能と 病態制御 応用人体構造 機能論						
専	教授	川口典男	平成21年4月	国際保健医療 福祉論 健康福祉科学 演習 健康福祉科学 特別研究						

専	教授	坂田惇教	平成21年4月	応用人体構造 機能論 保健医療福祉 とリハビリ テーション						
専	教授	大橋秀行	平成21年4月	保健医療福祉 とリハビリ テーション リハビリテー ション学特別 研究						
専	教授	朝日雅也	平成21年4月	保健医療福祉 とリハビリ テーション 健康福祉科学 演習 健康福祉科学 特別研究						
専	教授	小牧宏一	平成21年4月	予防医科学特 論 理論病態情報 論 健康福祉科学 演習 健康福祉科学 特別研究						
専	教授	室橋郁生	平成21年4月	予防医科学特 論 健康福祉科学 演習 健康福祉科学 特別研究						
専	教授	五味敏昭	平成21年4月	応用人体構造 機能論						
専	教授	河津芳子	平成21年4月	看護学教育論	専	教授	河津芳子	平成21年10月	看護学教育論 看護学演習 看護学特別研 究	平成21年10月から 教育課程の充実を図るため （「看護学演習」「看護学 特別研究」で看護学教育に 関するテーマを追加）。平 成21年7月教員審査済 （22）
専	教授	中崎啓子	平成21年4月	看護情報管理 論 看護学演習 看護学特別研 究						

専	教授	川畑貴美子	平成21年4月	看護管理システム論 成人看護援助論 看護学演習 看護学特別研究						
専	教授	西脇由枝	平成21年4月	小児看護援助論 看護学特別研究						
専	教授	鈴木幸子	平成21年4月	リプロダクティブヘルス論 看護学演習 看護学特別研究						
専	教授	伊藤俊一	平成21年4月	リハビリテーション基盤実践学特論 障害予防学特論 リハビリテーション学演習 リハビリテーション学特別研究						
専	教授	星文彦	平成21年4月	運動解析学特論 リハビリテーション学演習 リハビリテーション学特別研究						
専	教授	藤縄理	平成21年4月	運動器障害治療学特論 リハビリテーション学演習 リハビリテーション学特別研究						
専	教授	丸岡弘	平成21年4月	内部機能障害治療学特論 リハビリテーション学演習 リハビリテーション学特別研究						
専	教授	中田真由美	平成21年4月	機能適用支援系作業療法学特論 リハビリテーション学演習 リハビリテーション学特別研究						

専	教授	坂井博通	平成21年4月	健康福祉社会 調査論 健康教育評価 法 健康福祉科学 演習 健康福祉科学 特別研究						
専	教授	星 永	平成21年4月	健康教育評価 法 健康運動実践 学特論						
専	教授	佐藤雄二	平成21年4月	健康運動実践 学特論 健康福祉科学 演習 健康福祉科学 特別研究						
専	教授	福田素生	平成21年4月	福祉政策論 健康福祉科学 演習 健康福祉科学 特別研究						
専	教授	徳田哲男	平成21年4月	福祉工学論 健康福祉科学 演習 健康福祉科学 特別研究						
専	准教授	鈴木玲子	平成21年4月	基礎看護技 術・看護工学 看護学特別研 究						
専	准教授	横山恵子	平成21年4月	精神看護援助 論 看護学演習 看護学特別研 究						
専	准教授	清水洋子	平成21年4月	看護学演習 看護学特別研 究			後任補充予定無			平成22年3月 清水洋子准教授退職。「看 護学演習」「看護学特別研 究」は同じ研究テーマに関 して、他の担当教員がいる ため、支障は無い(22)

専	准教授	大月恵理子	平成21年4月	看護学特別研究						
専	准教授	小川豊太	平成21年4月	リハビリテーション基盤実践学特論 リハビリテーション学特別研究						
専	准教授	加藤朋子	平成21年4月	生活環境支援系作業療法学特論 リハビリテーション学演習 リハビリテーション学特別研究						
専	准教授	市村彰英	平成21年4月	健康支援カウンセリング論 健康福祉科学演習 健康福祉科学特別研究						
専	准教授	東 宏行	平成21年4月	健康支援カウンセリング論						
専	准教授	金粕 薫	平成21年4月	ソーシャルワーク特論 健康福祉科学演習 健康福祉科学特別研究						
専	講師	久保田章仁	平成21年4月	保健医療福祉概論 生活環境支援系理学療法学特論 リハビリテーション学演習 リハビリテーション学特別研究						
専	講師	田口孝行	平成21年4月	保健医療福祉概論 生活環境支援系理学療法学特論 リハビリテーション学演習 リハビリテーション学特別研究						
専	講師	金村尚彦	平成21年4月	障害基礎解析学特論 リハビリテーション学演習 リハビリテーション学特別研究						

専	講師	森山英樹	平成21年4月	障害基礎解析学特論 リハビリテーション学演習 リハビリテーション学特別研究	兼任	講師	前島 洋	平成22年4月	障害基礎解析学特論 リハビリテーション学演習	平成22年3月 森山英樹講師退職のため、平成22年度より担当者の変更。「リハビリテーション学特別研究」は同じ研究テーマに関して、他の担当教員がいるため、支障は無い(22)
							後任補充予定無		リハビリテーション学特別研究	
専	講師	西原 賢	平成21年4月	運動解析学特論 リハビリテーション学演習 リハビリテーション学特別研究						
兼任	講師	橋本迪生	平成21年4月	医療福祉安全管理学						
兼任	講師	藤井博之	平成21年4月	医療福祉管理特論						
兼任	講師	小野寺杜紀	平成21年4月	看護理論						
兼任	講師	久常節子	平成21年4月	看護政策	兼任	講師	樋口正昇	平成22年4月	看護政策	平成22年3月 久常節子講師辞任のため、平成22年度より担当者の変更(22)
兼任	講師	新野由子	平成21年4月	看護管理システム論						
					兼任	講師	高橋紘士	平成21年4月	保健医療福祉概論	認可時の留意事項に基づき、兼任教員を補充(21)
					専任	教授	山下美根子	平成22年4月	看護学特別研究	平成22年4月から教育課程の充実を図るため(「看護学特別研究」で精神ケア領域に関するテーマを追加)、専任教員を追加。平成21年9月教員審査済(22)

(注)・認可申請書の様式第3号(その2の2)に準じて作成してください。

なお、当該設置に係る学部、学科等に所属しない教員であって、全学共通、学部共通などの授業科目を担当する教員組織に所属している場合は、表題を「共通」とし、表を分けて作成してください。

- ・後任が決まっていない場合には、「後任未定」と記入してください。
- ・辞任者は「備考」に退職年月、氏名、理由を記入してください。
- ・年齢は、就任年度に関わりなく、「認可時の計画」には、開設時現在の満年齢を、「変更状況」には、平成22年5月1日現在の満年齢を記入してください。
- ・教員を学年進行中に変更した又は変更する予定の場合(「新規採用」、「担当授業科目の変更」又は「昇格」をいう。)は、変更後の状況を記入するとともに、その理由、後任者が決まっていない場合は、「変更状況」の「氏名」に「後任未定」と記入し、

及び今後の採用計画を「備考」に記入してください。

また、「専任教員採用等変更書（ＡＣ）」を提出し「可」の教員判定を受けている場合は「年 月教員審査済」、変更書を提出し、教員判定の結果が出ていない場合は「年 月変更書提出済」、変更書を提出予定の場合は「年 月変更書提出予定」と記入してください。

なお、設置認可審査時に教員審査省略となっている場合は、「備考」に「（教員審査省略）」及びその変更の理由、変更年度（ ）書き等のみを記入してください。

（２）専任教員数

認可時の計画				変更状況				備考
研究指導教員	研究指導補助教員	計	助手	研究指導教員	研究指導補助教員	計	助手	
36	4	40	0	36	4	40	0	変更なし
(36)	(4)	(40)	(0)	[0]	[0]	[0]	[0]	

（注）・「認可時の計画」には、設置認可時に予定されていた完成時の人数を記入するとともに、（ ）内に開設時の状況を記入し、「変更状況」には、平成22年5月1日現在（就任予定の者を含む）の状況を記入するとともに、[]内に設置認可時の計画との増減数を記入してください。（記入例：1名減の場合： 1）

(3) 専任教員辞任等の理由

番 号	職 位	専任教員氏名	辞任(就任辞退を含む)等の理由
1	准教授	清水洋子	平成22年3月31日退職(他大学への転出)。
2	講師	森山英樹	平成22年3月31日退職(他大学への転出)。

(注)・設置認可時の計画からの専任教員の辞任等の理由について、可能な限り具体的に記入してください。

(4) 専任教員交代に係る「大学の所見」及び「学生への周知方法」

清水准教授は「看護学演習」「看護学特別研究」を担当していたが、同じ研究テーマを指導する担当教員が他におり、また、清水准教授を指導教員とする学生がいないことから、履修等への影響は無い。
森山講師は、「障害基礎解析学特論」「リハビリテーション学演習」「リハビリテーション学特別研究」を担当していたが、「障害基礎解析学特論」「リハビリテーション学演習」については、兼任教員を補充した。また、「リハビリテーション学特別研究」については、同じ研究テーマを指導する担当教員が他におり、森山講師を指導教員とする学生がいないことから、履修等への影響は無い。
これらの科目において担当教員が変更となっていることについては、シラバス、掲示板等により、学生へ周知している。

(注)・上記(3)の教員の辞任等による学生の履修等への影響に関する「大学の所見」及び「学生への周知方法」を記入してください。

6 留意事項に対する履行状況等

区分	留意事項	履行状況	未履行事項についての実施計画
認可時	<p>・設置の趣旨・目的等が生かされるよう、設置計画を確実に履行すること。また、学術の理論及び応用を教授研究するという大学院の目的に照らし、開設時から充実した教育研究活動を行うことはもとより、その水準を一層向上させるよう努めること。</p>	<p>・設置計画に従い、大学院の運営を開始した(21) ・設置計画に従い、大学院の運営を行い、大学院FD企画部会等で教育研究水準の向上に努めた(22)</p>	
(平成20年10月)	<p>・学位論文審査規程を定めること。その際、論文指導教員は研究指導教員の資格を有することは当然であるので適切な表現を用いること。</p>	<p>・「埼玉県立大学大学院学位規程」を定め、「研究指導には、研究指導教員の資格を有する教員が当たるものとする」(第7条第2項)と明記した(21) ・法人化に伴い規程を整備したが、引き続き「埼玉県立大学大学院学位規程」を定め、「研究指導には、研究指導教員の資格を有する教員が当たるものとする」(第6条第2項)と明記した(22)</p>	
	<p>・入学者選抜について、受験生に混乱や不利益を生じさせないよう、「社会人」の定義及び「社会人特別選抜適用者」の範囲を明確にすること。</p>	<p>・「社会人」の定義については、学生募集要項に「平成21年3月31日現在、保健医療福祉の分野において3年以上の実務経験がある方」と定めるとともに、「3年以上の実務経験」の期間換算方法を明示し、「社会人特別選抜適用者」の範囲を明確にした。また、社会人特別選抜に該当する者は一般選抜の出願もできるが、出願できるのはいずれか一方であることとした(21) ・引き続き、「社会人」の定義、「社会人特別選抜適用者」の範囲を明確にした(22)</p>	
	<p>・フィールドワークやインターンシップを行うこととしている科目については、シラバスに反映させること。</p>	<p>・フィールドワークやインターンシップを行うこととしている「看護学演習」、「リハビリテーション学演習」及び「健康福祉科学演習」について、シラバスに反映させた(21) ・引き続き、フィールドワークやインターンシップを行うこととしている科目については、シラバスに反映させた(22)</p>	
	<p>・教員の補充を必要とされた1授業科目については、科目開設時までには教員を充足すること。</p>	<p>・「保健医療福祉概論」については、兼任教員を補充し、科目を担当させることとした(21) ・引き続き、「保健医療福祉概論」については、兼任教員に科目を担当させることとした(22)</p>	

設置計画履行状況 調査時 (平成22年2月)	該当なし		
------------------------------	------	--	--

- (注)・ 「認可時」には、当該大学等の設置認可時に付された留意事項(学校法人の寄附行為又は寄附行為変更の認可の申請に係る留意事項を除く。)と、それに対する履行状況等について、毎年度、具体的に記入し、報告年度を()書きで付記してください。
- ・ 「設置計画履行状況調査時」には、当該設置計画履行状況調査の結果、付された留意事項に対する履行状況等について、毎年度、具体的に記入するとともに、その履行状況等を裏付ける資料を添付してください。
 - ・ 入学定員超過に係る留意事項への履行状況については、指摘を受けた学科等についてのみ記入してください。
 - ・ 該当がない場合には、「該当なし」と記入してください。

7 その他全般的事項

< 保健医療福祉学研究科 保健医療福祉学専攻 >

(1) 設置計画変更事項等

認可時の計画	変更内容・状況，今後の見通しなど
該当なし	

- (注) ・ 1～6の項目により記入した事項以外で，設置認可時の計画より変更のあったもの（未実施を含む。）及び法令適合性に関して生じた留意すべき事項について記入してください。
- ・ 認可申請書の「設置の趣旨等を記載した書類」の項目に沿って作成し，それ以外の事柄については適宜項目を設けてください。（記入例参照）

(2) 教員の資質の維持向上の方策（FD活動含む）

<p>実施体制</p> <p>a 委員会の設置状況</p> <p>平成18年4月1日、教育開発支援本部を設置。</p> <p>平成21年4月1日、教育開発支援本部に大学院FD企画部会を設置。</p> <p>平成22年4月1日、公立大学法人化に伴う学内組織改組で、教育開発委員会に大学院FD企画部会を設置。（別添「埼玉県立大学教育開発委員会規程」第8条参照）</p> <p>b 委員会の開催状況（教員の参加状況含む）</p> <p><平成21年度></p> <p>教育開発支援本部は副学長を本部長とし、教員9名で構成（月1回開催。平成21年度12回開催）。</p> <p>大学院FD企画部会は、大学院担当教員7名で構成（月1回開催。平成21年度12回開催）。</p> <p><平成22年度></p> <p>教育開発委員会は教育開発センター長を委員長とし、教員13名で構成（月1回開催予定。平成22年4月26日に第1回開催）。</p> <p>大学院FD企画部会は、大学院担当教員4名で構成（平成22年5月12日に第1回開催）。</p> <p>c 委員会の審議事項等</p> <p>教育システムに関するカリキュラムの調整・研究及び改訂企画等</p> <p>教育評価法の調査・研究</p> <p>教授法等教育方法の調査・研究、教職員研修等の企画支援</p> <p>入学前教育及び卒業後の教育の企画 等</p>
--

実施状況

a 実施内容

F D 研修会

教育改善懇談会

新任教員研修会

授業満足度調査

教員相互の授業参観

b 実施方法

F D 研修会

外部講師を招き、全教員を対象に講演又はワークショップ方式で実施。

大学院担当教員を対象としたF D 研修会も実施（外部講師招へい、懇談会形式等）。

教育改善懇談会

教育課題について分野ごとに報告を行った後、グループに分かれ各課題について教員間で討議。

新任教員研修会

新任教員を対象として教育・研究、学生相談、情報システム等について各担当教員から説明。

授業満足度調査

開講科目について、学生の授業満足度に関するアンケート調査をマークシート方式等により実施。

アンケートの集計結果は教員にフィードバックする。

教員相互の授業参観

公開授業を設定し、他の教員の授業を参観。参加教員に対するアンケート調査を実施。段階的に公開授業を拡大していく。

c 開催状況（教員の参加状況含む）

F D 研修会

大学院担当教員を対象としたF D 研修会を含め計年5回開催（各回約40名～60名参加）

教育改善懇談会

年2回開催（各回約60名～70名参加）

新任教員研修会

年1回年度当初開催（新任教員20名程度が参加）

授業満足度調査

年2回全学生を対象に実施

教員相互の授業参観

試行的に1回開催（約10名が参加）

d 実施結果を踏まえた授業改善への取組状況

F D 研修会の開催により教員のF Dに関する意識改革が促進された。また、学生の授業満足度調査の結果は、教員にフィードバックされるとともに、教員改善懇談会でも意見交換が行われ、教員はそれらの結果を踏まえて授業改善に取り組んだ。また、教員相互の授業参観の実施や参観者のアンケート結果を踏まえてF D 研修会や教育改善懇談会を開催し、より一層の授業改善に向けて取り組んでいく。

（注）・「 a 委員会の設置状況」には、関係規程等を転載又は添付すること。

「 実施状況」には、実施されている取組を全て記載すること。（記入例参照）

(3) 自己点検・評価等に関する事項

設置の趣旨・目的の達成状況に関する総括評価・所見

多様化する保健医療福祉への県民ニーズに対応するためには、特定の分野において高度な専門性を持つとともに、他の専門職や関係機関と連携・協力しながら最適な保健医療福祉サービスを統合して提供できる人材が必要となっている。

埼玉県立大学大学院では、このような専門性や管理能力の高い保健医療福祉の高度専門職業人を育成する。高度専門職業人の育成には、保健医療福祉の実務経験や現場で培った問題意識を活用することが有効であり、大学院の基本コンセプトを「リカレント教育に軸足を置いた大学院」とし、社会人が仕事をしながら無理なく大学院教育を受けられるよう、多様な教育環境（土曜・夜間開講、長期履修制度、サテライトキャンパス）を整備した。

a 教育環境の整備状況

・土曜・夜間開講

土曜日（9：00～17：50）と平日の夜間（18：00～21：10）に開講する。

・長期履修制度

職業を有しているなどの事情により2年で修了することが困難な学生のため、4年を上限とする長期履修制度を設けた。

・サテライトキャンパスの設置

大学所有の看護実習センターを改修し、サテライトキャンパスを設置した。

【住所】さいたま市浦和区北浦和4-9-3（京浜東北線 北浦和駅徒歩3分）

b 入学者選抜の実施状況

平成21年度は、入学定員20人に対し、46人の出願者があり、このうち、社会人特別選抜が41名、一般選抜が5名であった。平成21年2月22日に入学者選抜試験を実施し、合格者を26名（社会人特別選抜24名、一般選抜が2名）とした。

平成22年度は、入学定員20人に対し、22人の出願者があり、このうち、社会人特別選抜が19名、一般選抜が3名であった。平成22年9月6日に入学者選抜試験を実施し、合格者を22名（社会人特別選抜19名、一般選抜が3名）とした。

これらの結果は、「リカレント教育に軸足を置いた大学院」として保健医療福祉の現場で従事する社会人を受け入れるとした本大学院の設置の趣旨・目的に合致したものと考えている。

自己点検・評価報告書

a 公表（予定）時期

・平成23年3月 公表予定

b 公表方法

・自己点検・評価報告書を刊行し、関係機関等に配布
・大学ホームページ上に公開予定

認証評価を受ける計画

・平成23年度に評価機関（大学基準協会）の評価を受けるべく、学内自己評価委員会で検討中

（注）・ 設置認可時の計画の変更（又は未実施）の有無に関わらず記入してください。

また、「 設置の趣旨・目的の達成状況に関する総括評価・所見」については、できるだけ具体的な根拠を含めて記入してください。

なお、「 自己点検・評価報告書」については、当該調査対象の組織に関する評価内容を含む報告書について記入してください。

(4) 情報提供に関する事項

設置計画履行状況報告書

- a ホームページに公表の有無 (有 ・ 無)
- b 公表時期 (未公表の場合は予定時期) (平成 2 2 年 5 月)
- c 文部科学省ホームページから、貴学ホームページの「設置計画履行状況報告書」掲載ページへのリンク (承諾する ・ 承諾しない)
- d 上記で「承諾する」を選んだ場合、そのリンク先のアドレス
(<http://www.spu.ac.jp/info.rbz?ik=1&nd=198>)

(注) ・ 「 c 」において「承諾する」場合、文部科学省のホームページにてリンク先を掲載しますので、大学等のトップページではなく直接リンクする先を「 d 」に記入してください。
なお、「 d 」のリンク先のアドレスが未定の場合は、決まり次第、文部科学省高等教育局大学設置室あてに、メールにてご報告ください。

大学設置室メールアドレス : d-secchi@mext.go.jp

件名は「【調査係あて】AC報告書等HPリンク先(大学)」としてください。